

# オッサン ショウオが行く

## いしばし 石橋 ひろみつ 弘充さん



### ○和牛農家（牛飼い） の種類と仕事内容

和牛農家は「繁殖農家」と「肥育農家」に分けられます。

「繁殖農家」とは母牛を飼育し子牛を産ませ、子牛を生後8～10カ月まで育てて家畜市場に出荷する農家のことで、「肥育農家」とは家畜市場で子牛を購入し、20カ月程度肥育して食肉処理施設に出荷する農家のことです。今回は「繁殖農家」の石橋さんにお話を伺いました。

### プロフィール

日南町出身の32歳。高校卒業後、鳥取県立農業大学校へ進学。鹿児島県、伯耆町で経験を積み、平成25年日南町にて独立。現在は阿毘縁で和牛繁殖農家、家畜人工授精所を経営する他、農業や保育園での和牛ふれあい体験の企画運営等、多岐にわたる活躍で日南町を支える若手の一人。

### 難しいことは

生き物が相手なのでほとんど思い通りにいきません。一頭一頭性格も違うので寒さ暑さの調節や、エサを食べさせること、風邪や下痢症状の対応等それぞれにあったスタイルを提示してあげられるよう心がけています。中には人に向かってくる牛もいて、きちんと理解し対応できないとお互いの怪我にも繋がります。

### 仕事内容は

基本的にはエサやりや掃除、子牛の哺乳です。他にも種付け（人工授精）に行ったり、出産の手伝いをしたり、農業もやっているので農作業をしたりと様々です。23頭のお母さん牛があり、牛の妊娠期間は285日なので1年1産を目標としています。

### 大切にしていることは

人と人との繋がりで。日々困ったことがあると相談して助けてもらっています。若いころは上手じゃなかったのですが、人と人との繋がりがないと何かあったときに助けてもらえなかったり、信用してもらえなかったりするるので、大切だなと感じるようになりました。

### 仕事のやりがいは

子牛が買い手に評価されたときや種付けが一回で成功したときは嬉しいです。お産の手伝いに呼ばれ無事に出産させることができた時、役に立って良かったなと感じます。

### 町と畜産業について

現在町内で畜産業をしているのは14軒。日南町から畜産業をなくしたくないという思いがあります。新しい人が増えてほしいですしご高齢の方にも長く飼っていただけるようにしていきたいです。

### この仕事をしようと思ったきっかけは

父が農協の畜産担当で、小学生の頃お産の手伝いに一緒に連れて行ってもらったことがありました。特殊な業務を通して、牛飼いさんに信頼され頼られる父の姿が格好良かったことがきっかけかなと思います。長男だったこともあり、日南町から出ることは考えていませんでした。日南町で生計を立てていくことを考え、農業と好きだった牛を飼うことができたらと考えこの仕事に就きました。

### 今後の目標は

1日1日牛飼いとして生きるということです。現在も決して潤沢とは言えませんが僕は死ぬまで牛飼いとして生きていきたいと思っています。また、和牛のオリンピックと呼ばれる『全国和牛能力共進会』（全国和牛の大会）が令和4年にあります。2007年から手伝い等で関わっていたこともあり、今度は自分の牛を連れていきたいです！

